

# 瀬戸内町へき地診療所

瀬戸内町  
へき地診療所  
TEL 2-3211

駐車場 →

鹿児島25期 橋口 正隆

# 瀬戸内町ってどんなところ？

鹿児島県奄美大島の南端に位置し、離島にあってさらに加計呂麻(かけろま)・請(うけ)・与路(よろ)の3つの有人離島を有する、面積239km<sup>2</sup>の広域な町です。総人口は平成22年1月現在、10,261人。

## 交通アクセス





# 海峡を持つ町、瀬戸内町

請島

加計呂麻島

大島海峡

高台から市街地を望む ～ 奄美本島—加計呂麻島の間は大島海峡と呼ばれ、一つの町の中に海峡を有する珍しい自治体です。

# 職員・設備



2階は病棟(19床)

初療室へつながる  
救急搬入口

正面玄関

医師:2人(私と26期の平野拓郎先生)、放射線技師:1人  
看護師:16人(うち与路、請島に1人ずつ常駐。1人は巡回診療専属。  
1人が育児休暇中)、  
看護助手:3人、事務:7人(2人は巡回診療専属)、調理員:4人





受付



初療室



診察室



検査室

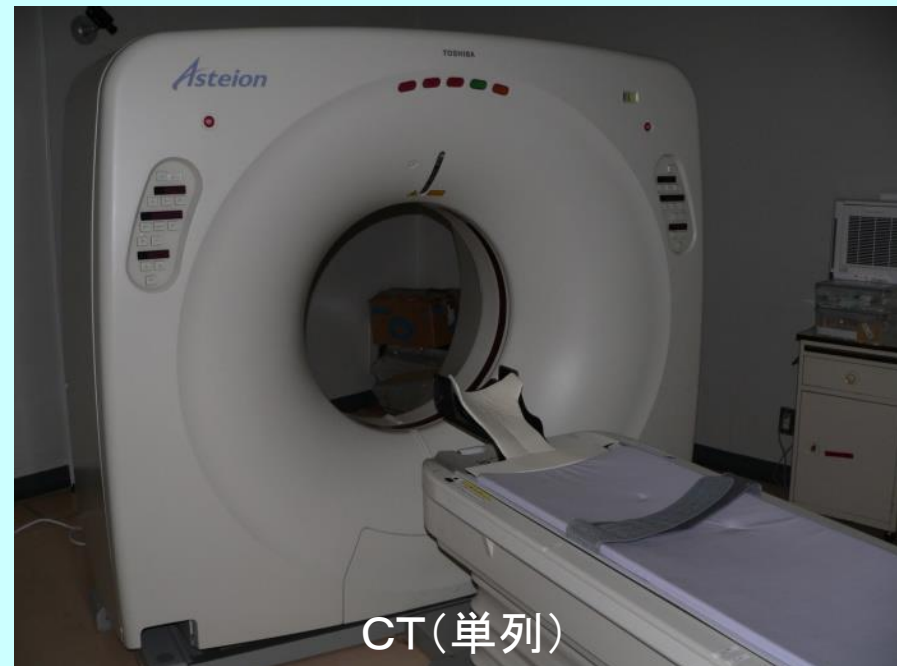
内視鏡(上部・  
下部消化管)



エコー(心・腹・体表)



X線(デジタル)



CT(単列)

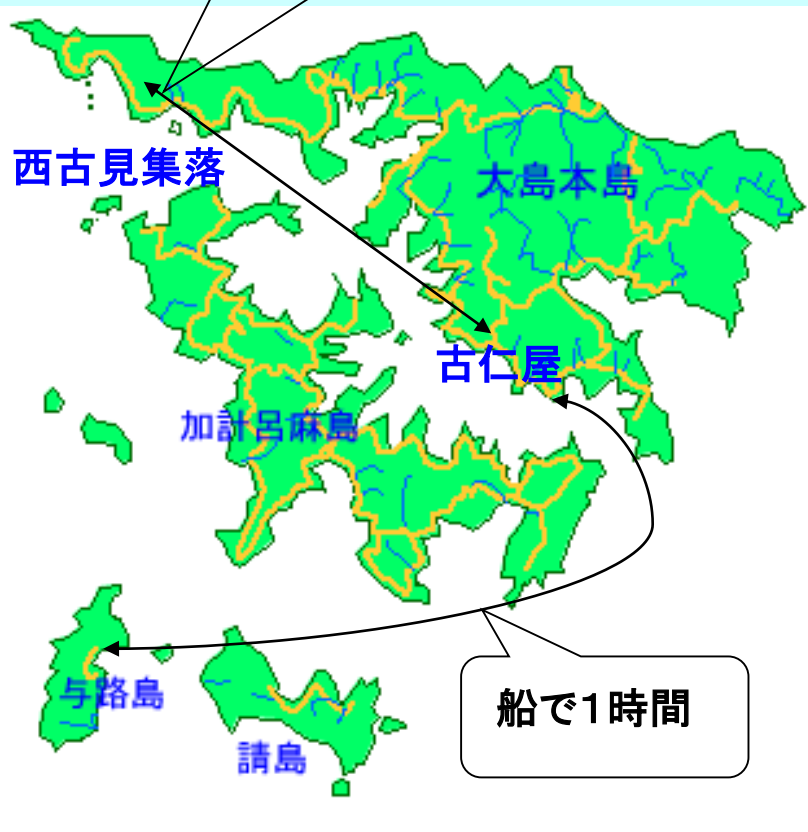
# 業務内容

- 外来診療、病棟業務
- 巡回診療(週4日)
- 特別養護老人ホーム嘱託医(週1回)
- 乳幼児健診、保育所健診(月1~2回)
- 予防接種(ポリオ、BCG)
- 地域行事への参加(防災訓練、救護班)
- 検死
- 中学校校医



# 巡回診療概要

車で1時間20分



- 瀬戸内町は、奄美大島という離島にあって、加計呂麻・請・与路という離島を抱え、診療所のある町内中心地(古仁屋)からもっとも遠い西古見集落までは、乗用車で1時間20分という地理環境である。
- 当診療所の最大の特徴は、上記地理状況をカバーするための広範囲の巡回診療である。
- 巡回地域の高齢化率は非常に高く、限界集落も多い。車なしには隣の集落間の移動手段にさえ困る地域であり、巡回診療への依存度は非常に高い。
- 後述の巡回診療車では、西古見集落を含む本島の西側を2日、加計呂麻を4日間かけて一回りする。
- 請・与路には海上タクシー(小型船)で移動、与路島までは1時間強を要する。現地の診療所で、常駐している看護師と診療にあたる。



民間の海上タクシーを利用



# 巡回診療車

- ・現在は平成15年度に更新された3代目
- ・普通車免許で運転可



外観

バスを改造し、内部に診察室・待合スペース・薬棚を持つ

## 主な設備

血圧計・耳鏡・眼底鏡・直達喉頭鏡  
経皮酸素飽和度測定器・ポータブル心電計  
ポータブル超音波診断装置(ソノサイト180)



診察室



# 瀬戸内町の見所

加計呂麻島は映画寅さんシリーズの最終作、「男はつらいよ 寅次郎 紅の花」の舞台になった



諸鈍シバヤ(芝居)は800年前に平家が伝え、現代に引き継がれている。国指定重要無形民俗文化財



古仁屋港から見える夕日

ホノホシ海岸：太平洋の荒波にもまれた石は全て角が取れて丸くなっている



昨年の夏、オリンピックが泊っていたホテル



# 特産品・産業



①②パッションフルーツ(とけいそう)

③たんかん

いろいろな養殖業が盛んです。

④いけす ⑤クロマグロ ⑥車海老

⑦⑧真珠貝と真珠



# 仕事を離れて



今年はダイビングにはまって、5月から10月まで潜りました。



# 休日はもっぱらアウトドア



マングローブパークでのカヌー



子供たちには澄んだ海が当たり前



地元の同級生家族とBBQ



友達の船でクルージング